

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ビアンカ		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 12 月 2 日		～ 令和 7 年 1 月 11 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 6 年 12 月 2 日		～ 令和 7 年 1 月 11 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所前に大きな広場があり、そこで大きなスペースを生かした活動が行える。	室内だけでなく屋外での体をのびのびと動かせる鬼ごっこやバトミントン、モルックなどの活動を行っています。 また、四季を見て触って感じ取ることができるよう季節に合わせた活動も行うようにしています。	今後もスペースを生かした様々な活動を安全面に配慮しながら行っていきます。
2	児童の特性、能力に寄り添った活動プログラムの作成。	複数の職員が連携して子供の様子を観察し、支援方法を随時相談、見直しを行うことで質の高い支援を行えるように心がけております。	子ども一人ひとりの興味や課題に合わせた支援を、さらに充実させていきたいと思っております。
3	児童が無理なく楽しんで来所できるような環境整備。 活動が固定化しないような工夫。	経験が豊富な職員が多いのでいろんな職員の意見を聞きながら各自、子どもたちの特性を見ながら楽しくできることを考え行うようにしております。	引き続き、職員同士で情報共有を行い、楽しく活動が行えるように工夫してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の交流の場が提供できていない。	働いておられる方も多く、交流の場の設定が難しい。	今後保護者様の意見も踏まえながら、実施を検討してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		利用児童数		回収数	
放課後等デイサービス ピアンカ		2025年 2月 20日		22		14	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				広場で自由に遊べるのもいいです。	ご見学の際、入所時のご説明の際に室内の説明をさせて頂いております。今後も十分な活動スペース確保に努めます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					今後も環境整備に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					日々の清掃や消毒を行っております。活動に合わせて仕切りを利用しています。
適切 な 支 援 の 提 供	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					今後も支援プログラムをしっかりと伝えていけるよう努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					今後も子供や保護者様のニーズをしっかりと分析し、適切な支援計画の作成に努めてまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14					法に基づいた支援内容を設定したうえで、ニーズに沿った具体的な支援内容を設定させていただきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14					活動プログラムが固定化しないよう、今後もより良い活動プログラムの実施に努めてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					今後もご不明な点がないよう丁寧な説明を心掛けていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					今後も丁寧な支援内容の説明を心掛けていきます。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					今後も同様に取り組んでいきます。
の 時 対 等	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14					今後も同様に取り組んでいきます。
満 足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	14				本人にとってピアンカは大切な時間であり、居場所となっています。	これからも安心して通所していただけるよう環境整備に努めてまいります。
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				とっても喜んでいつも通わせていただいています。一日の日程で最優先!となっています。	これからの楽しんで通所していただけるよう、支援プログラムの工夫に努めてまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	14					これからも楽しみながら安心安全に生活ができるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス ピアンカ		2025年 2月 20日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		事業所前の大きな広場での運動療育。室内と屋外で児童が分散し過ごしやすくなっています。	活動に応じ、安全を確保しながら十分なスペースを確保できるよう配慮してまいります。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		利用定員に応じて、職員を配置しています。	引き続き、適切な人員配置を行ってまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	耳からの情報伝達のみならず、視覚的にもルールや時間を意識できるような配慮を行っています。	引き続き、特性に応じた配慮を必要に応じて行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日のおもちゃ、車の消毒や感染症対策の一環で、空気清浄機や加湿器、自動水栓などを設置しています。	子どもたちが心地よく安心して来所できるよう、清潔で快適な環境整備を行ってまいります。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	学習時、クールダウン時など、必要に応じて個室に移動するなどの配慮を行っています。	引き続き同様に支援を行ってまいります。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		定期的なミーティングなどで日々の振り返りを行い業務改善を図っています。	より多くの職員が参画できるように体制を整えてまいります。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様に評価表を配布し、御意見等を頂戴し改善に繋げています。	今後も業務改善に努めてまいります。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的なミーティングなどで日々の振り返りを行い業務改善を図っています。	今後も業務改善に努めてまいります。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	同地区の他事業所との職員交流を行い、業務改善を図っています。	今後も業務改善に努めてまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	定期的に研修に参加し、職員の資質向上を図っております。	今後の職員の資質向上に向けて研修等を行ってまいります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		事前に活動プログラムの周知を行っております。	引き続き同様の周知を行ってまいります。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		各児童のニーズに沿って、放課後等デイサービス計画を作成し支援を行っています。	引き続き、同様に計画を作成してまいります。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		放課後等デイサービス計画時には、検討会議を行い、児童に合わせた計画を作成しております。	引き続き、同様に計画を作成してまいります。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		定期的に会議を行い、計画に沿った支援の周知をし、適切な支援ができるよう心がけております。	今後も同内容を行い、計画に沿った支援を行ってまいります。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	業務日誌は全スタッフが閲覧、記入をできるようにしており振り返りができるようにしています。	今後も同内容を行い、業務改善に努めてまいります。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	必要な項目を適切に設定し、具体的に内容を記載しております。	今後も同内容の支援計画を設定してまいります。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	実施前に職員間で話し合いプログラムの決定を行っています。終了後にもミーティング等で良点、改善点の共有を行っています。	今後も同様のプログラム立案を行ってまいります。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		各職員が支援計画について把握しており、日々の気づき、子供の成長に合わせてプログラムの変更を適宜加えています。	今後もプログラムが固定しましよう工夫してまいります。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		子どもの状況に応じて、適した活動を行っています。	今後も、同内容で支援を行ってまいります。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	日々の児童の出来事や情緒の変化などを共有し、どのように支援していくのかを職員で話し合い改善を図っています。	今後も同様に話し合い支援の改善を図ってまいります。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	支援終了後は職員で振り返りを行い、今後の支援の改善を図っています。	今度も同様に振り返りを行い、より良い支援ができるようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		業務日誌は全スタッフが閲覧、記入をできるようにしており振り返りができるようにしています。	今度も同様に記録を行い、より良い支援ができるように改善をします。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期的にモニタリング会議を実施し、支援計画の見直しを行っています。	今後も継続して実施していき、適切な見直しを図っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	2	基本的に「4つの基本活動」を軸に、個々の児童に合わせた活動を行っています。	今後も同様の支援を行っていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自己選択、自己決定ができるような声掛けを行い自身の過ごし方を決定しています。適宜職員が助言するなどの支援を行っています。	今後も同様の支援を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	基本的に管理者、児童発達管理責任者が出席しています。	今後も同様に継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	必要に応じて関係機関と連携できる体制を整えております。	今後も同様に関係機関と連携した体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校送迎時に学校での様子や事業所での様子の共有、下校時刻等の連絡調整を行っております。	今後も継続して学校との連絡調整を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	就学前の情報は保護者様から伺っております。	保護者様と相談し、必要であれば就学前の関係機関との連携に取り組んでいきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	障害福祉サービス事業所等への移行実績がない為、行っておりません。	今後、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、必要に応じて情報を提供するよういたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	地域の児童発達支援センターとの連携は行っておりません。市から作業療法士に来ていただき助言をいただきました。	子どもの発達など必要に応じて取り組んで行きます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	現時点では機会を設けておりません。	今後計画して、交流できる機会が作れるようにしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	参加するようにしております。	今後も参加するようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日頃の様子や自宅での様子など些細な事でも情報共有できるよう努めております。	今後も同様に継続し信頼関係の向上に努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7	現時点で研修やペアレントトレーニングは行っていないが、必要に応じて助言等をしています。	今後検討していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	利用契約時や法改正時に説明を行っております。また、問い合わせがあった際にも、都度お答えしております。	今後も継続して取り組んでいきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	定期的に面談を行い、保護者様の意向を伺っております。	今後も継続して取り組んでいきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	支援内容の説明を行い、同意を得たうえで支援を行っております。	今後も継続して取り組んでいきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて相談に応じ、助言や支援を行っております。	今後も継続して取り組んでいきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	現在は保護者会等の開催は行っておりません。	今後保護者様と相談し、必要であれば実施を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	迅速に対応する体制を整えております。	今後も継続して取り組んでいきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		日頃の活動の様子をSNS、通信等を発行し保護者様に発信しております。	今後も継続して取り組んでいきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	個人情報の取扱いに留意しています。	今後も継続して取り組んでいきます。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		LINEや電話等様々なツールを使い、個々に合った情報伝達ができるように努めております。	今後も継続して取り組んでいます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	現在地域住民を招待する等は行っておりません。	今後必要であれば、招待も検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	それぞれのマニュアルを策定し、定期的に訓練を実施しております。保護者への周知はできておりません。	マニュアルをどなたでも確認できる場所へ設置します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定しており、定期的な訓練の実施を行っております。	今後も継続して取り組んでいます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	利用契約時に服薬等確認を行っております。以降の服薬、予防接種などもその都度確認を行っております。	今後も継続して取り組んでいます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	利用契約時に確認を行っております。医師の指示書がある場合は、保護者様にご協力をいただきながら情報共有をしています。	今後も継続して取り組んでいます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	安全計画を作成し、安全管理が十分な中で支援を行っています。	今後も継続して取り組んでいます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	ご契約時に緊急時の対応など、安全計画に基づいた取り組みをご説明させていただいております。	今後も継続して取り組んでいます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット発生時に記録し、事業所内で共有した後、再発防止に向けた方策を検討しております。	今後も継続して取り組んでいます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	社内にて定期的に虐待防止研修を行っております。	今後も継続して取り組み虐待防止に努めてまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	身体拘束をすることがありません。	現在対象児童がおりません。	